

三 勲 小 だ よ り

令和2年1月17日(金)

<始業式の話>

新しい年、令和2年が始まりました。みんながそろうのは初めてなのでお祝いのあいさつをしましょう。「明けましておめでとうございます。」

さて、冬休みはどうでしたか。きっとお家の人と「喜ばせっこ」がたくさんできたことだと思います。

今日から始まる3学期は短いですが、今の学年のまとめをするとても大切な時期、かけっこやリレーで言うとゴールに近いラストスパートのところですよ。決められたことだけでなく自分から進んでいろいろなことに取り組んだり、これまで勉強して興味をもったことやもっと頑張りたいことを見つけてやってみたりするといいですね。

そこで、今日は、皆さんにある人のお話をします。(吉野彰さんの写真)

この人は、吉野彰さんといって、去年ノーベル化学賞を受賞した人です。ノーベル賞というのは、毎年世界中でもっとも活躍した人に贈られる賞です。

吉野さんは、今や私たちの生活に欠かせないものとなっている携帯電話やノートパソコンなどで使われているリチウムイオン電池を開発したということでノーベル賞を受賞しました。もしも、この電池がなかったら、普通の電池では十分な電気をためることができないため、携帯電話やノートパソコンなどは、現在ほど使われるようになっていなかったかもしれません。

吉野さんは、小さい頃は家の周りが竹やぶで、よくトンボを採って遊んでいたそうです。そんな吉野さんが化学に興味をもったのは、小学4年生の時に、担任の先生が薦めてくれた一冊の本がきっかけでした。

それは、これに関した本です。(ろうそくの絵) そうです、ろうそくですね。その本は英国の科学者ファラデーという人が書いた「ろうそくの科学」という本です。

この本には、ろうそくはなぜ燃えるのか、炎はなぜ黄色いのかといったことが書かれています。吉野さんはこの本を読んで、化学の面白さに引き付けられました。そして、この興味がその後の彼の研究につながったのです。吉野さんは、「興味をもつと、どんどん化学が得意になってきた。」と言われていました。

皆さんは、これからの生活でも、いろいろなことに出合うと思います。その時に、吉野さんのように、「これが好きだ」とか「このことを勉強してみたい、もっと調べてみたい」と思うものを見つけてほしいと思います。そのことが、自分を高めるきっかけになることでしょう。

最初に言ったように、3学期は今の学年のまとめをする大切な学期です。特に6年生の人は小学校生活6年間の締めくくりであり、中学校へのステップとなる3か月です。一人ひとりがいろいろなことに挑戦したり、自分の好きなことや興味のあることを見つけたりして頑張してほしいと思います。

また、今のクラスで過ごすのも3学期だけです。友達とも仲よく「喜ばせっこ」をしながら、力を合わせていろいろなことを頑張れるといいですね。みんな元気でいい締めくくりができるように願っています。

これで校長先生のお話を終わります。





